

## 一流にふれる

進路指導主事 石原 俊明

今月号は1年生の進路意識向上週間の特集を組みました。この期間だけで延べ40名以上の一流の講師の方々を本校にお招きしました。何が「一流」かと言えば、実力が一流だし、その生き方、考え方が一流で、私達教員がお話しを拝聴しても大いに感動し、啓発されます。進路指導部ではこのような機会をなるべく多く設けるよう努力しておりますので生徒のみなさんは「一流」「本物」と呼ばれる方から何かを学んで自分の学校生活に活かしてってください。

### 行事報告

## 特集 進路意識向上週間

1年生は12月15日（月）～19日（金）の期間を「進路意識向上週間」として設定し、3つの大きな行事（キャリア教育座談会・市民講師セミナー・進路別研修）を行いました。そのそれぞれの概要（含：写真）と生徒の感想を掲載しました。

### I キャリア教育座談会（12月16日）

本校出身のOB・OGの方々を中心に招聘し、生徒と座談会形式で交流を行いました。それぞれ活躍する分野は、製造、金融、美容、保育、医療、運輸、福祉等、多岐にわたり、生徒は3人の講師を選択し、質疑応答を中心に交流を行いました。講師の方々は以下のとおりです。敬称は略させていただきます。

鈴木国泰（昌賢学園アドミッションセンター） 高橋香奈世（ハローワーク沼田）

中澤彩香（東和銀行） 本橋香織（利根中央病院 作業療法士） 生方颯太（JR東日本）

小泉順一郎（美容室） 増田美穂（熊の子保育園） 小田橋大樹（大同特殊鋼） 角田淳（藤森工業）

### ○福祉（昌賢学園アドミッションセンター）

- ・傾聴すること、つまり相手の目を見て、うなずきながら話を聞くことが安心・信頼につながるなら、これから実践していこうと思った。
- ・介護をする中で、相手の話を全力で受け止め、聞いてあげることで相手に安心を与えるということを学んだ。

### ○ハローワーク

- ・お客様と接する中で、表情に気を付け、裏表のない態度を持つことが大切だと学びました。
- ・窓口相談だけではなく、セミナーも行っているとは思っていませんでした。講師の方は利根商でチームワーク、体力、資格を身に付けてよかったとおっしゃっていたので、私も資格をきちんと取りたいです。

### ○金融（東和銀行）

- ・講師の方は、学生の頃からしっかり勉強してきた人なのだなと思った。あいさつ、返事、身だしなみを身につけ、向上心を持って、日々目標に向けて生活をしていきたいと思った。
- ・銀行の仕事は、学校への求人が1人しかないとうかがい、とても難しい仕事だと分かりました。

### ○作業療法（利根中央病院）

- ・どんなに勉強が苦手でも、入学してから必死に取り組めば成果が出るということがわかりました。患者全員が元気で帰れるわけではないとうかがい、その点はすごく悲しく、大変だと感じました。
- ・自分で頑張った分給料がもらえるという考え方は、良いと思った。辞めたいとか、他の仕事にすればよかったと思っても、同僚や友達、自分を待ってくれる人たちを支えにして頑張れるということがすごいです。

### ○JR東日本

- ・1分でも遅刻をしないように心がけ、接客するときの言葉遣いに気を付けることが大切である。



### ○美容師（川田美容室）

- ・どんなことでも、失敗してしまったら言い訳をせずに謝る。何事も自分から、他者が喜ぶ行動をする。日々の生活で気を付けていこうと思いました。
- ・10年もアシスタントをするのはきついが、苦勞を終えて初めて髪を切るときはとても楽しいのだろうと思った。



### ○保育（熊の子保育園）

- ・子供の人数をしっかりと把握し面倒をみることはすごく大変だとわかりました。一番気を付けていることは子供が怪我をしないことで、子供と同じ目線に立って話をすることが重要だとわかりました。
- ・保育園では、先生は第2のパパ・ママのような存在であると思いました。集団では多く学ぶことがあり、保育園に行かない子供は他者との接し方がわからないということがわかりました。

### ○製造（大同特殊鋼）

- ・評定平均が8.0以上（10段階）はないと難しそうなので、勉強しようと思った。
- ・しっかりと聞いて学び、ミスをしないようにしているとうかがい、私も心がけようと思った。

### ○製造（藤森工業）

- ・工業は常に危険な場面があるので、とても大変な仕事だとわかりました。また多くの資格があり、取得していくのはとても難しそうだと思います。
- ・毎日休まず怪我をしないように仕事をするのが大事ある。

## II 市民講師セミナー（12月17日）

社会のあらゆる分野の第一線で活躍する方々を講師にお招きし、生徒はその仕事内容を拝聴すると共に一流ならではの仕事への流儀、生き方にふれることにより、職業観、人生観の啓発に大いに役に立ったと思います。講師の方々には以下のとおりです。敬称は略させていただきます。

西田俊太郎（株式会社西田・建材業 RC）	桑原敏彦（テクノアウター・建設業 RC）
赤間昌彦（北群馬旅行社・旅行業 RC）	石澤雄一郎（マルキホームズ・日用品衛生用品介護用品販売 RC）
桑原滋（桑寿園茶舗・販売業 RC）	田村一也（自衛隊群馬地方協力本部 沼田地域事業所長）
島田崇行（群馬県警察沼田警察署 警務課長）	金子好雄（群馬県美容業生活衛生同業組合 沼田支部長）
酒井修（利根沼田広域消防本部）	星野邦彦（福祉関係 昌賢学園アドミッションセンター）
大草由美子（国立沼田病院 総看護師長）	七五三木聡一（同院 感染管理認定看護師）

### ○株式会社西田

- ・西田さんのお話で、“主体的”ということをしごく重要視されていました。なんでも自分には関係ないと決めつけず、なんでも自分のことのように物事を考えていきたいと思いました。
- ・西田さんに人生の話をしていただき、自分の考えが変えられる気がした。とても良い話を聞いた。

### ○テクノアウター

- ・やりがいがありそうで、自分もやってみたいなと思った。
- ・日本一になるために、大変な日々を過ごしてきたのがよくわかった。自分にできることをきちんとしたい。

### ○北群馬旅行社

- ・旅行業に限らず、これからは英語が必要とされてくると聞き、英語を頑張ろうと強く思いました。
- ・赤間さんの「何事にもポジティブに考えることが大切という考え方」を私も見習いたいと思いました。

### ○マルキホームズ

- ・販売業で、消費税や売りに悩まされながらも、全力で仕事をして成し遂げるといふ思いが込められていて、熱い講話だった。
- ・卸だけだと思っていましたが、製造と小売りもしていることに驚きました。感謝の気持ちを大切にしており、素晴らしいことだと感じました。



### ○桑寿茶舗

・お茶にもいろいろな種類があり、おいしい入れ方などを教えてもらえたので、今度やってみたい。

### ○自衛隊

・頑張れば誰でもなれる職種なのだと知った。  
・「平和を仕事にする」ことが、自衛隊の役目である。

### ○沼田警察署

・警察にはいろいろな部署があり、女性も多くいることがわかりました。警察官になるためには、「協調性」「コミュニケーション能力」が大切だと思いました。  
・みんなのためにやってくれているということを知ることができてよかったです。

### ○プロトン

・情報を集めるだけではだめである。分析して発信することが大切である。どんな仕事でも、気持ち、やる気がないとその仕事は続かない。自分に合った職業を真剣に考え選んでいこうと思った。

### ○利根沼田広域消防本部

・判断力とコミュニケーション能力の高い人が適しているとうかがった。高校生活で身に付けていきたい。

### ○国立沼田病院

・看護師さんには、優しさ、思いやり、受容性、協調性、主体性、前向きさ、コミュニケーション能力が大切だとわかりました。相手と意見が違っても肯定的にとらえるなど、様々なことを学ばせていただきました。  
・看護師の仕事も、色々な種類があつて大変だと思った。夢や、興味をもつことが大切だとわかった。

### ○昌賢学園

・福祉という言葉には「幸せ」という意味が込められていることを教えてくれた。子供と関わるなら、介護も含めた保育の資格をとったほうが有利だということが分かった。  
・大変だと思っていたことも、ずっとやっていくことで大変だと思わなくなる、その通りだと思いました。

## III 進路志望別研修（12月19日）

就職、進学別に企業や上級学校を訪問し、研修を受けました。訪問した企業、学校は以下の通りです。

企業：藤森工業・キャノン・田園プラザ川場・アイチコーポレーション・ホテル松乃井 学校：高崎経済大学・関東学園大学・高崎健康福祉大学・育英短期大学・前橋医療福祉専門学校・ 群馬県美容専門学校・山崎学園（東日本デザイン&コンピュータ・東日本プライダルホテルトラベル・ 群馬調理師・東日本製菓技術・東日本栄養医薬 各専門学校）
---

### ○藤森工業

・お客様の立場になって考えているところはすごいことである。自分たちが働き始めたら必要なことなので、今回たくさん学べてよかったです。  
・内部の見学では、専用の服を着て見学をしました。空気中のごみの少なさにびっくりしました。

### ○キャノン電子株式会社赤城事業所

・工場内で働いている方々が平均的に若く、ニコニコしていて会話を楽しそうにしており、雰囲気がとても良いと思いました。またリサイクルをして機械を作っているの、地球の環境を守っている良い企業だと思いました。  
・工場内には、たくさんの目標や決まりがありました。例えば、5mを3.6秒で歩く、三自の精神（自覚・自発・自治）、3S（素早い判断・行動・反省）、立ち会議などがすごいと思いました。考えてみると全て基本的なことなのだと思います。日々の生活に生かしていきたいと思いました。

### ○田園プラザ

・「関東好きな道の駅5年連続第1位」「日経プラス1家族で一日楽しめる道の駅東日本第1位」とおっしゃっていて、この道の駅はすごいと思いました。  
・様々な計画が立てられていることや、たくさんの工房の話などを聞きました。



## ○ホテル松乃井

・旅館業と言っても、予約、会計、接客など、仕事の幅が広く、予約や会計などは簿記、電卓、エクセルなどの資格があるとよいとおっしゃっていました。「仕事は誰かのためにやるのではなく、自分のためにやる」というのは、勉強と一緒にだと思いました。

・群馬県1の客室数を持ち、その分社員もたくさん必要なのだと思いました。任された仕事は嫌とも言わずにやるということが、見習わなくてはならないところだと思いました。

## ○アイチコーポレーション

・小型の機械から大型まで幅広く使用され、部品の組み立て、塗装を人の手や機械で作業している姿を見て、とても効率が良いと感じました。

・音楽で助けを求めるといふところにとっても驚きました。電子板に目標と作り終わった数が表示されていたり、ヘルメットの色が分けられていたり、とても分かりやすいと思いました。

## ○高崎経済大学

・講義はとても速く、高校とは全然違うと思いました。提出書類なども期限までにさなければ受け取ってもらえないことなど、自分たちが目頃いかに緩いかということを実感しました。

## ○関東学園大学

・指定校推薦があり、商業の検定を優先してくれるので利根商からの進学には有利だと思いました。模擬講義では「高校生の1日と公務員の仕事」「NIKEのCM戦略」といった一味違った講義で面白かったです。

## ○高崎健康福祉大学

・テレビなどでよく見るサーモグラフィーやCTを見せてもらいました。人の体の内部まで立体的に表示でき、便利だと感じました。最後にエコーを見せてもらい、赤ちゃんはこうやって見えるのだと学びました。

・設備がとても充実していた。サークルもあるので、入学したら看護師を目指して一生懸命勉強に取り組みつつ、スポーツでストレスを発散できるので、とても充実した大学生活を送ることができると思った。

## ○育英短期大学

・保育学科に入ると、本当に保育のことしか学ばないけれど、深く学べるところが良いと思いました。2年間で3つの資格もとることができるうえ、実習や選択科目、ゼミがたくさんあり、集中して学べそうだなと思いました。電子ピアノ50台や、保育現場が再現されている部屋もあり、ここで学びたいと思いました。

## ○前橋医療福祉専門学校

・学校の中はとてもきれいで、様々な装置が設備されていました。作業療学科や理学療学科などの違いや、具体的に何をするのかを教えていただき、とても勉強になりました。

## ○群馬美容専門学校

・ロットをまいたり、メイクをしたりしました。生徒さんはみな明るく、真剣な顔をしていました。学校内の設備がよく、先生方がとても明るかったので、学生の方々がとてもうらやましかったです。

## ○東日本製菓技術専門学校

・高校とは違った雰囲気を感じました。どの教室も調理専門の教室で、想像よりはるかに施設が充実していて驚きました。学生の方々の技術は短期間で身に付けたとは思えないほど高度で素晴らしいと思いました。

・デモンストレーションは、技術だけではなく心得もおっしゃっていて、聞き入ってしまいました。

## ○東日本デザイン・コンピュータ専門学校

・パソコンや機械と向き合えばかりなのかと思っていましたが、ホテル同様の部屋や受付、パソコン室はもちろん、医薬室、バーカウンターなどそれぞれのコースに合った教室があり驚きました。バーカウンターでは、カクテルやラテアートの体験をし、医薬室では化粧水をつくることができました。本校卒業生も何人か通っていたり、面白い先生がいたりして、楽しい日常を過ごしていることがわかりました。



## 〈見聞録コーナー〉

今回は川場村社会福祉協議会に勤務する本校ホッケー部OBの高橋照夫さんから福祉に関するメッセージを掲載させていただきます。

「『仕事内容』は、主に高齢者の介護で、トイレの排泄介助、食事介助、入浴介助など。

『やりがい』は、高齢者の方々は加齢に伴い、身体が思うように動かなかったり、重病を患い麻痺があったりし、日常の生活を不便しており、その方々の不足的な所を埋められると思うとやりがいを感じる。『嬉しいこと』は高齢者の方々とふれあい笑顔で交流できること。

『悲しいこと』は、仕方がない事だが、体調を崩し入院や施設に入所されてしまい、会えなくなった時。『高校生へのメッセージ』としては、これからも高齢の方が増えます。しかし、介護職に就く人は少なく、介護業界は人材が不足しています。辛い事もありますが、人相手の仕事ですのでとてもやりがいがあります。」